

平成 15 年度未踏ソフトウェア創造事業

アルゴリズムック・インプロヴィゼーション用ソフトウェアの開発 — リアルタイム AV パフォーマンスによるデジタル美学の探究

開発者：久保田晃弘（多摩美術大学）

1. 本プロジェクトでは、コンピュータのプログラムによるアルゴリズムックなプロセスと人間によるインプロヴィゼーション（即興演奏）という通常は相反すると考えられているものを結びつけるため、「プログラムによるアルゴリズムの記述と練習による身体的なスキルの獲得は相互に互換（変換）可能である」という新しい視点による、ラップトップパフォーマンス用のプログラムの開発と、開発者自身によるパフォーマンスの実践を行いました。

2. 本プロジェクトで開発したプログラムを活用して以下のようなインスタレーション/パフォーマンスを行いました。
 - (1) 初台の NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]で開催された「サウンディング・スペース 9 つの音響空間」にインスタレーション作品「materialAV—共鳴するインターフェイス」を出展（2003 年 7～9 月）
http://www.ntticc.or.jp/Calendar/2003/Sounding_Spaces/Works/material_j.html
<http://www.idd.tamabi.ac.jp/~kubotaa/materialAV/materialAV.mov>
 - (2) 中京大学でレクチャーパフォーマンスを開催（2003 年 10 月）
 - (3) 多摩美術大学で AV パフォーマンスを実践（2003 年 10 月）
<http://www.idd.tamabi.ac.jp/~kubotaa/nu/031027.mov>
 - (4) 静岡 mixed media におけるサウンドパフォーマンスを実践（2003 年 11 月）
<http://www.idd.tamabi.ac.jp/~kubotaa/solo/solo031103.mp3>
 - (5) 武蔵野美術大学で AV パフォーマンスを実践（2003 年 12 月）

(6) 渋谷 Uplink Factory とせんだいメディアテークにおいて「ブラッケージ・アイズ 2003-2004 リスpondダンス音楽企画 Visual Music for the Silent Film Maker」を開催 (2003 年 12 月, 2004 年 2 月)

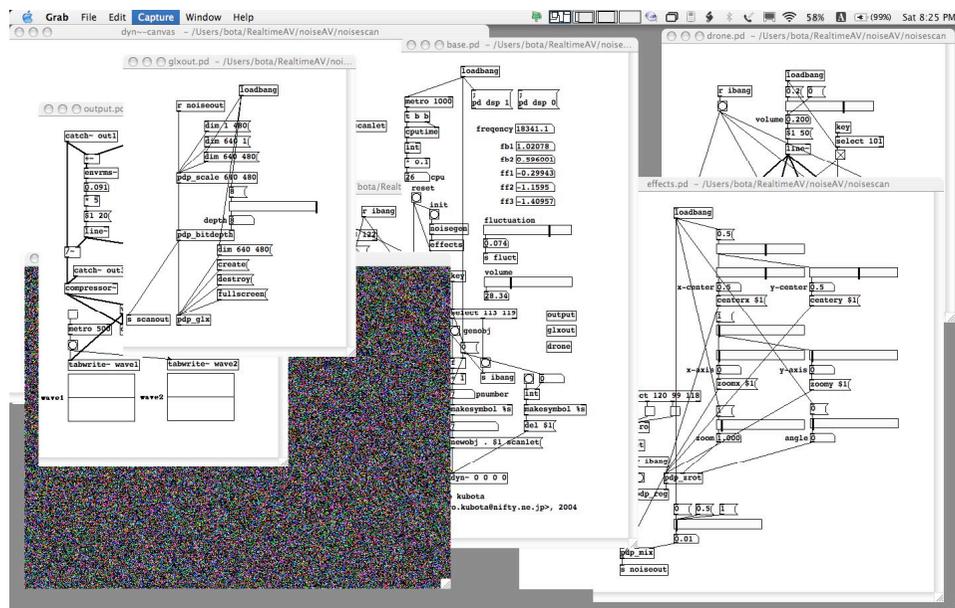
<http://www.visualmusic-for-sfm.net/info/livej.html>

<http://www.idd.tamabi.ac.jp/~kubotaa/brakhage/031227tamabi.mov>

http://www.idd.tamabi.ac.jp/~kubotaa/nu/lovesong_t1.mp3,

http://www.idd.tamabi.ac.jp/~kubotaa/nu/lovesong_t2.mp3

3. 上記のようなプロセスを経て、「pulsebeat」と「noisescan」という、アルゴリズムック・インプロヴィゼーション用のプログラムを開発しました。「noisescan」演奏時のデスクトップ画面は以下のような感じになります。



<http://www.idd.tamabi.ac.jp/~kubotaa/nu/pbns.mp3>